

理事長あいさつ

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 植村信吉



昨年は台風に伴う風水害が続発した年でした。一昨年の西日本豪雨に続いて、またもや広範な地域で大規模災害が発生しました。ふと、毎年どこかで大規模災害が起こる時代が来たのかと思うのは私だけでしょうか。

昨年9月5日に千葉県に上陸した台風15号は、猛烈な風で多くの屋根瓦を吹き飛ばし、千葉県下を中心に大規模停電を引き起こしました。この大規模停電を新たな災害の形と捉えその備えと対策が急がれます。

また、昨年10月12日には台風19号が東日本を縦断し、関東、甲信越、東北地方で甚大な被害が発生しました。人的被害は、死者95名、行方不明者5名、重傷者40名、軽傷者432名。住宅被害、全壊1,827棟、半壊7,062棟、一部損壊9,644棟、床上浸水33,148棟、床下浸水36,926棟。(2019年11月7日現在、総務省消防庁資料から抜粋。10月25日の大雨被害含む)となっており、自治体によっては未だ被害全容が掴めていないとも言われています。千曲川や阿武隈川等が越水・決壊した映像は記憶に新しいところです。犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

奈良県内で、自分の住む地域で、大規模災害が発生したら私たちはどう動くべきでしょうか。これからは、被害の少ないところから被害の大きいところへ支援に入るといったスタンスが必要であり、防災士にはその中心的役割を果たすことが求められていると考えるべきです。専門家の間では、減災、支援、復旧、復興などへの取り組みは今まで通りでは難しくなっており、再考する必要があると言われていています。日頃の地域でのネットワークや人と人のつながりを大切にし、災害ボランティアセンターを開設・運営する各市町村社協との関係づくりが重要になってきます。私たちが住む奈良県には、大和川、吉野川という大きな河川が流れていることを忘れてはいけません。また、今後30年以内の発生確率が70%~80%と言われる南海トラフ地震への備えも欠かせません。

昨年は、例年にも増して自治体や教育委員会・学校関係者、自主防災会、各種団体からの問合せや研修、実技講習、講師派遣、訓練への企画立案などの依頼が多数寄せられました。防災士会が県下で認知されてきた証であると共に、ここ数年の間に災害が連続して発生したことによる県民の皆さんの防災意識の高まりに大きな要因があると考えています。決して驕ることなく、地道に防災への取組を進めていきたいものです。

現在、本部では地区防災計画への取組を進めています。非常に大事な取組みと考えています。また、様々な研修や先進地の活動から地区防災計画が難しいものではないことがわかってきました。要は、地域のリスクを知り、なにかあったら自分たちが地域でどう動くのかを決め、決めたことにしたがって訓練をするという事です。そして、その中心は私たち防災士です。これまでの被災地支援の活動から「地域の約束事」があったところでは人的被害が少なかったことに着目すべきです。地域で信頼される防災士を目指し、“逃げどき、逃げどころ、逃げ方”を住民にどう伝えどう知らせるのか、事前に何をすれば良いのかを常に意識したいものです。

昨年は会員向けの研修会は総会時のみとなりました。様々な理由があるにせよ研修会の機会が失われたことは組織としての脆弱性が浮き上がったと認識しており、素直にお詫びしたいと思います。研修会は会員のスキルアップや会員相互の交流・意見交換の場でもあります。今後は、会員の経験年数等を踏まえた実情に合った研修会を持つことも必要かもしれません。

現在、奈良県防災士会の会員は418名です。(2019年11月7日現在)しかし、若い世代の会員や女性会員は少数です。当会の大きな課題と捉えていますが、有効な手立てがないのが実情です。奈良県防

災士会のモットーは、“決して無理をせず、できることから、できる範囲で”そして“楽しく”です。ここを積極的に伝えて行くことが解決策の一つではないかと考えておりますが十分ではありません。どうすれば若い世代の会員や女性会員を増やせるのか、多くの方々のお知恵をお借りしたいと思っております。ご意見をお聞かせ下さい。

毎年のように大規模災害が発生し、その都度心を痛める日々ではありますが、元気よく、楽しく、笑顔を届けるつもりで今年1年頑張っていきたいと思っております。会員の皆さま方のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

今年も一緒にがんばりましょう。

活動報告

■2019年(令和元年)7月～11月の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
7/3(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
7/5(金)	防災出前学習(発表会)	河合町	河合町安心安全推進課	196人
7/6(土)	広陵北小学校区合同防災訓練 & 防災フェスタ「水害防災講演、防災クイズ、ドローン撮影」	広陵町	広陵町、広陵北小学校区自主防災会	430人
7/24(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
8/3(土)	夏休みお天気フェア	奈良市	奈良地方气象台	166人
8/14(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
8/14(水)	あすなら保育園防災研修	大和郡山市	あすなら保育園	10人
8/18(日)	三郷町三室 親子防災まつり 「ペーパークラフト工作、防災紙芝居、炊き出し(流し素麺)」	三郷町	三郷町三室自治会	50人
8/21(水)	磯城郡小学校教育研究会 防災講演会	磯城郡	磯城郡小学校教育研究会	116人
8/24(土)	生駒市男女共同参画講座「クロスロード」	生駒市	生駒市男女共同参画プラザ	75人
8/26(月)	災害時の三者連携・協働に向けた研修会	—	内閣府(防災担当)	129人
8/28(水)	大宇陀小学校 教職員防災研修会	宇陀市	宇陀市立大宇陀小学校	14人
8/31(土)	県防災総合訓練 「桜井市織田区防災訓練」(人間HUG訓練)	奈良県	奈良県防災統括室 (奈良県安全安心まちづくり推進課)	120人
9/1(日)	奈良市総合防災訓練 「災害対策本部立上げ・市民いっせ避難・各地区避難所開設」	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	3,601人
9/4(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
9/8(日)	葛城市防災士 スキルアップ研修	葛城市	葛城市防災士	26人
9/14(土)	三宅町赤十字奉仕団「避難所運営ゲームHUG」三宅町	三宅町	三宅町赤十字奉仕団	26人
9/15(日)	北小平尾「防災マップ(まちあるき)」	生駒市	北小平尾自治会	40人
9/19(木)	“いつか”のために“いま”備える 防災対策		奈良テレビ放送	
9/22(日)	県自主防災訓練支援事業 「天理市防災訓練」(兵庫町防災まちあるきマップ作成ツアー)	天理市	兵庫町自主防災組織	40人
9/25(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
9/28(土)	県自主防災訓練支援事業 「生駒市防災訓練」(ミニ避難所宿泊体験)	生駒市	生駒南第二小学校区8自治会 (自主防災会)	80人



9/28 生駒市防災訓練：地震のときブロック塀(=段ボール箱)の真横にいと、崩れて下敷になる危険の疑似体験

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
10/6(日)	御杖村防災訓練 「シェイクアウト、避難所講話、日用品応急手当、ロープワーク」	御杖村	御杖村	480 人
10/13(日)	奈良県防災リーダー研修(防災士養成講座) 講演「防災士の役割」、避難所運営ゲームHUG		奈良県安全安心まちづくり推進課	280 人
10/16(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
10/19(土)	王寺町防災士講演会 「過去の災害から学ぶ～紀伊半島大水害・平成30年7月豪雨」	王寺町	王寺町危機管理室	80 人
10/20(日)	川西町3回連続防災講座 第1回 「大雨が降ると川西町はどうなるの？」	川西町	日本赤十字川西町地区奉仕団	26 人
10/27(日)	風水害タイムライン研修	斑鳩町	斑鳩町三室自治委員会	25 人
11/3(日)	防災講演 「逃げ時、逃げ方、逃げどころ」～水害編～	三宅町	三宅町小柳自治会	28 人
11/4(月)	夜出発～11/6(水)夜帰着 台風19号被災地災害ボランティア	〔福島県〕 〔郡山市〕	奈良県社会福祉協議会	23 人
11/6(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
11/9(土)	防災訓練 「南海トラフ地震発生後の児童引渡し訓練」	三宅町	三宅町小学校	600 人
11/9(土)	「近年の気象災害とタイムラインによる防災対応」		日本防災士会本部	
11/9(土)	防災訓練「地域ハザードマップ作り」	葛城市	葛城市大字平岡区自治会	18 人
11/10(日)	防災訓練「簡易担架他」	斑鳩町	斑鳩町北庄自治会自警団	82 人
11/12(火)	大宇陀小学校 教育講演会(防災) 「児童・保護者向け防災講演」「児童引き渡し訓練」	宇陀市	宇陀市立大宇陀小学校	200 人
11/13(水)	葛城市大字新庄区 自主防災設立総会	葛城市	葛城市大字新庄区自治会	38 人
11/16(土)	災害時対応訓練 (災害ボランティアセンター設置訓練)	吉野郡	吉野青年会議所 吉野郡内社会福祉協議会	113 人
11/17(日)	川西町3回連続防災講座 第2回 「車椅子避難を体験してみよう」	川西町	日本赤十字川西町地区奉仕団	22 人
11/17(日)	避難訓練&防災学習会	葛城市	当麻イトーピア自治会	83 人
11/21(木)	忍海小学校4年生 防災体験 「防災について考えよう」	葛城市	葛城市立忍海小学校	63 人
11/27(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
11/27(水)	地球環境保全活動団体交流会 「防災士の活動紹介と水害と土砂災害への取組み」	奈良県	NPO法人奈良ストップ温暖化の会	100 人
11/27(水)	奈良市職員対象防災士養成講座 「身近で出来る防災対策」	奈良市	防災士研修センター	55 人
11/29(金)	都祁中学校 火災想定避難訓練	奈良市	都祁中学校	110 人
11/30(土)	県自主防災訓練支援事業 「明日香村防災訓練」	明日香村	明日香村 総代会・ 自主防災組織・民政児童委員 合同リーダー研修会	222 人
11/30(土)	都祁地域合同防災訓練 「複数避難所同時開設・本部連携訓練」	奈良市	都祁地区自主防災防犯会	140 人

■奈良県安全安心まちづくりアドバイザー派遣

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
7/21(日)	新木防災会 防災講話	田原本町	新木防災会	28 人
7/22(月)	西和養護学校 HUG	上牧町	西和養護学校	102 人
7/28(日)	纏向自主防災会避難所開設運営訓練 (図上HUG訓練)	桜井市	纏向自主防災会	60 人
8/10(土)	災害への備えと、災害時の自主防災 組織の役割について	明日香村	明日香村総代会・ 民生児童委員協議会合同防災研修会	150 人
9/16(月)	大綱ひまわり会防災活動「あなたに防災を」	田原本町	大綱ひまわり会	12 人
10/6(日)	橿原市菖蒲町第二防災会防災講習会	橿原市	菖蒲町第二防災会	25 人
10/26(土)	奈良市西千代ヶ丘防災訓練 講演「家庭内の防災に対する準備に関して」	奈良市	奈良市西千代ヶ丘自治会	140 人
11/16(土)	上箕山東之町自治会 防災勉強会	大和郡山市	上箕山東之町自治会	65 人

■夏休みお天気フェア

令和元年 8 月 3 日（土）奈良市防災センターにおいて、奈良地方気象台、奈良県砂防災害対策課、奈良市防災センター、日本気象予報士会、奈良県防災士会の共催に「夏休みお天気フェア」が行われ、親子 166 人が来場、天気と防災について学びました。

奈良県防災士会からは 18 名の会員が参加し、防災士会ブースに新聞スリッパとゴミ箱、ゴミ袋のポンチョとキッチンペーパーのマスク作りの体験コーナーを設置。特設コーナーでは防災紙芝居と簡易担架の寸劇を行いました。

防災紙芝居は「マナちゃんリナちゃんの防災日誌」と題した、奈良県防災士会のオリジナルです。今回はいつもより多く 5 回上映。聴覚障害者の団体が来場されて手話による紙芝居もできました。緊急地震速報が聞こえない方へのシェイクアウトなどの課題も考えながら、子ども達も楽しく学べる良い機会になったと思います。

＜末田政一 防災士＞



奥：新聞スリッパとゴミ箱
手前：ゴミ袋ポンチョ作り



手話による紙芝居

←手話
通訳さん

■県防災総合訓練

令和元年 8 月 31 日朝 9 時から、桜井市芝運動公園で奈良県防災総合訓練が行われました。今年度は、豪雨により大規模の災害が生じたとの想定で、協力団体・企業 63 団体、行政機関 27 団体の参加で行われました。

奈良県防災士会は、避難所運営訓練（会場：総合体育館）を担当し、織田小学校区自治会・自主防災会と地域の方々とともに避難所の運営訓練を行いました。今回の訓練は、避難所運営・開設訓練ゲーム（通称：HUG）を図上ではなく、実際に人が演じる形（通称：人間 HUG）で行い、参加者の方には避難所の雰囲気との体験と、実際に起こり得る問題などを知って頂きました。また、訓練では桜井市朝倉台自主防災会のご協力を頂き、私たちと一緒に訓練を進めました。

織田小学校区の役員さんには、事前研修を 3 回行ってもらいましたので、当日は、スムーズに進行することができました。課題としては、情報の共有などの問題点も浮き彫りにされてきました。

＜板垣伴之 防災士＞

■奈良市総合防災訓練

令和元年 9 月 1 日（日）奈良市役所、及び奈良市全市 50 地区 57 箇所の指定避難所において、奈良市総合防災訓練が開催され、3,601 名の参加がありました。内訳は「災害対策本部：80 名、避難所配置職員：114 名、自主防等従事者：1,115 名、避難者参加：2,292 名」です。

奈良市には現在 765 名の防災士がいます。その中で 136 名が奈良県防災士会に所属されています。総合訓練では各地区で同時に避難所が開設されましたので、防災士も各地元の地区で活躍していただきました。久しぶりに開催された奈良市総合防災訓練ですが、今回は災害対策本部と行政センターや出張所とテレビ会議を通じての連携、各避難所との連携訓練を行いました。写真の避難所は都祁地区の様子です。都祁で作成した避難所運営マニュアルに則り、自主防災役員と避難住民が協力し合って避難所開設を行いました。事前にしみんだよりで広報して、当日は 9 時 30 分に防災行政無線とエリアメールで地震発生訓練開始を伝えましたが、規模の割には住民の避難者が少なかったと思います。

＜末田政一 防災士＞



■天理市兵庫町防災訓練

令和元年9月22日(日)天理市兵庫町において南海トラフ地震(震度6強)を想定した「防災まちあるきマップ作成ツアー」が行われ、奈良県自主防災支援事業として奈良県防災士会から8名の防災士が訓練をサポートしました。

第一部の「防災まちあるき」では兵庫町を4ブロックに分け、各ブロック10名程度の参加者に防災士が2名ずつ同行して、危険箇所の確認や災害時に役立つ場所や人材を探して歩きました。

第二部では防災まちあるきで得られた情報を各ブロックの代表者が地図に書き込み、兵庫町全体の「防災まちあるきマップ」が出来上がりました。町内を防災目線で歩くことで、兵庫町のリスクと課題や長所を共有していただく機会になったと思います。

＜小山英子 防災士＞



災害支援活動

2019年台風15号による長期間停電被害復旧応援レポート

＜報告：八幡領防災士＞

関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力で9月9日に上陸し、千葉県を中心に甚大な被害を出した台風15号ファクサイ。

暴風により多くの家屋が被害を受けた。電力送配電設備も例外ではなく、山間部の送電鉄塔2基の倒壊によって特別高圧送電線6回線が停電。数多くの電柱も倒壊または損傷を受け、一時大規模な停電状態となった。東京電力パワーグリッド(以下東電PG)は翌10日には、倒壊している送電鉄塔2基分の送電線を切り離し、他の送電線で迂回送電するなど応急復旧可能な処置を行った。しかし、一般家庭など高圧以下で電気を届けるためには配電線設備の復旧が必要であり、その復旧には損傷した道路の復旧や倒木等の撤去が足かせとなっており、停電解消には長期間を要する。

東電PGから応援要請を受けた全国の電力会社から高圧発電機車、高所作業車などと共に数百人規模の人員が停電復旧応援のために被災地に入った。私は、配電線設備保全を専ら従事しているわけでもなく専門外ではあったが、社内訓練を受けていたため第2陣派遣メンバーに選出された。

12日朝から移動し、正午に東京駅集合。バスで千葉県内に入った。車窓からは幹の途中から折れた杉が多数見受けられ、樹皮の内側を露呈している木々の様子が生々しく見えた。宿泊待機場所は千葉県の太平洋側九十九里浜南端にある白子町のホテル。到着後、すぐに派遣者を8名程度ずつ数班の班に編成し各班のリーダーが先遣隊の引継ぎを受けた。

私が所属した班の任務は、ホテルから北へ車で1時間ほど走ったところにある特別養護老人ホームへの送電業務であった。多古町内の多古特別養護老人ホームと隣接する多古ケアハウスの2施設へ高圧発電機車それぞれ1台ずつで送電しており、1班で2台の発電機車監視を行う指示を受けた。朝7時にホテルを出発して多古町へ。途中、朝食用にコンビニでおにぎりを調達。現地で前日深夜から従事していた班から引継ぎを受けた。主な業務は電圧や潤滑油、燃料残量などの記録と燃料補給である。日中は日差しもあることからテントを設営しペットボトル飲料も十分確保していた。

途中、夜勤を終え帰宅しようとして出たこられたホームのスタッフの皆さんから労いと感謝の言葉をいただき、我々の活動が被災地での不自由さ解消に少しでも貢献



多古特別養護老人ホームと多古ケアハウスのそれぞれの施設に1台ずつ発電機車で送電する。ケアハウスに送電する発電機車の周りには燃料の軽油ドラム缶を配置。

しているんだと実感することができた。

他にも“おにぎり”の差し入れをいただいたり、ケアハウス利用者の方から「施設の風呂に入ってはどうか」というご心配のお声かけもいただいた。

道路を挟んだ向こう側は停電が続いており、近くの学校施設内では自衛隊車両による給水活動の様子もあった。

発電機車監視業務は6時間交代で行っており、午後に任務を終え次の班に引継ぎすると、別の施設へ人員と車両の回収のため移動した。慣れない土地ではカーナビが頼りではあったが、いたるところで通行止めがあり大きく迂回しながら、狭隘道路の通行を余儀なくされた。道中は信号機が灯っていない交差点があり、慎重な運転で目的地に到着。

人員を回収すると、次の施設へ移動。稼働を終えた高圧発電機車の回収しホテルへ帰着。日没後の到着であった。

業務手配の指示がなければ、日中でもホテルで待機となる。その間、地元の防災無線放送から「断水の恐れがある」旨の放送が流れ、節水が呼び掛けられていて、ここも被災地同様の不自由な生活環境に晒されるのだろうかと心配したが、滞在中は断水になることはなかった。停電が長期に亘ると様々な脅威があることを、身をもって体験できた。

4日間の従事を無事に終え15日に帰路へ。東京駅周辺で食事をとるため皇居近くをうろろ。もうすぐ始まるラグビーワールドカップに向けたイベントで賑わっていることに違和感を感じながら新幹線に乗車した。



送電する発電機車の傍らで監視業務を行う。暑さ対策のテントを設営。青、黄、赤のケーブルを柱上の開閉器負荷側へ接続し送電を行っている。

災害支援活動

奈良県社協「台風19号被災地(郡山市)災害ボランティア」に参加して

<防災士 村山 央>

令和元年11月4日(月)～7日(木)、奈良県・奈良県社会福祉協議会主催台風19号災害ボランティアバスで23名が福島県郡山市に入りました。

4日20時、県社会福祉総合センターでスコープなど資機材をバスに積み込み出発、約800km、運転手さん2名交代で運転、翌朝7時郡山市に到着。レンタカー6台に別れて資機材を積み込み、郡山市社会福祉協議会(郡山市災害ボランティアセンター)へ向かい、活動地の逢瀬川町内会集会所(富久山乙高サテライト)に到着。サテライトには、北海道、宮崎からのボランティアや地元郡山市からも来られていました。

一日目は、男性ボランティアが被災家屋の庭の流入土砂の除去、女性ボランティアは被災家屋の家財道具の清掃などを行いました。被災者のFさんの話では「川が目の前なので二階から水位を見ていたが、まだ1mもあるので大丈夫と思っていたら、いきなり家に水が入ってきて、あっという間に冷蔵庫が浮き出して、あわてて二階に逃げて助かったんです」とのこと。Fさんの下流200m位のところで越流・氾濫したようです。



家財道具の清掃



浸水の高さ



逢瀬川堤防

二日目は、4 チームに別れて活動しました。半分は日本大学徳定サテライト付近（阿武隈川とその支流谷田川の間）の被災家屋の床はがし、土砂除去、石灰散布、庭の土砂除去を行いました。床はがしのお宅では涙を流して喜んでおられました。残り2 チームは、引き続き乙高地区の土砂かき、畳、家具、ピアノの搬出と、家財道具の清掃と引き続き前日の残りの作業を行いました。

現地では、ボランティア要請をしていない人もまだまだいる模様で、ニーズ調査の必要を感じました。帰りには、民間入浴施設ご厚意の「災害ボランティア無料入浴券」を利用して、スーパー銭湯で疲れを癒し、20 時郡山を出発、翌朝7 時橿原に無事帰ってきました。

第2 便が11 日出発の予定です。

この県社協ボラバスに参加した防災士は、八木沢（王寺町）、南上（天理市）、植村（三宅町）、谷口（山添村）、奥村（葛城市）、竹谷（吉野町）、細田（大和高田市）、村山（広陵町）の8 名です。



日大付近の浸水の高さ



床板はがし後の石灰散布

※防災ならメールにてお知らせしたとおり、令和元年12月6日(金)夜出発～9日(月)早朝帰着の日程で、奈良県防災士会主催の「災害復興支援ボランティア」を行いました。その様子は次回広報誌に掲載予定です。

今後の活動予定

■定例研修会

2020年1月19日開催予定の「奈良県防災士会定例研修会」は、台風19号による災害の影響により講師の都合がつかなくなりましたので「中止」とさせていただきます。次回は5月の「総会記念研修会」の予定です。

■奈良県防災士会 総会・研修会・懇親会

●2020年5月24日(日)

場所、時間、議案、研修会内容等の詳細は、会員様宛てに発送する予定です。詳細が決まり次第ホームページでも告知します。

奈良県防災士会のキャップ 好評販売中！

フロントに防サイくんをデザインし、サイドに「奈良県防災士会」の名称を入れた奈良県防災士会オリジナルキャップです。

優れたドライ機能とUVカットが嬉しいポリエステル 100%メッシュ素材。

- 頒布価格 1,500 円（税込）
- カラー 緑（奈良県防災士会のベストと同色）
- サイズ フリー（サイズ調整可能）



デザイン画

防災士ベスト好評販売中！

左胸に「NPO 法人 奈良県防災士会」の名称を入れた、防災士ベストを販売しています。ぜひご活用ください。

※日本防災士会本部は 2019 年 9 月末で頒布品販売を終了しました。当会は今まで通り防災士ベストを販売します。

- 頒布価格 2,500 円（税込）
- カラー 緑（1 色）
- サイズ F(L)、XL、XXL（3 サイズ）

- 一部の研修会場などで販売しています。
会場へお越しの際にお買い求めください。
- 郵送・通販形式での販売及び、取り置きは行っておりませんのでご注意ください。



着用例：サイズF(L)（身長 160cm）

サイズ	F(L)	XL	XXL
着丈	69	72	75
身幅	56	59	62

（単位：cm）

広報誌の印刷用紙について

広報誌および案内チラシの印刷は、業務負担の軽減のため「ネット印刷業者」を利用しています。
最安値の用紙を選択して経費削減に努めています。

コート紙のため書き込みにくいか、色が悪いことも時々ありますが、ご理解をお願いします。

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、

「奈良県防災士会」で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトで、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしています。

スキルアップのための見学が可能です。

ただ、主催者側からの要望により参加防災士の事前報告が必要な場合や、訓練を進める上での問題もありますので、見学を希望される方は、必ず事前に事務局または担当防災士に連絡の上ご参加下さい。

「会員一斉メール」が「防災ならメール」に生まれ変わりました！

入会時に申告していただいたメールアドレスに、緊急を要するお知らせを、年に数回程度お届けします。配信アドレス変更希望の方は「奈良県防災士会会員専用ページ」からお手続きください。携帯メールの方は受信許可ドメインに「bousainara.com」を設定してください。



奈良県防災士会のFacebookを公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね！」をよろしくお願いします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

- 発行日 2020年1月1日
- 発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 植村信吉
〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬 1-5
- 編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

- E-mail mail@bousainara.com
- FAX 0745-61-1878
- ウェブサイト <http://bousainara.com>
- Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>